

基本目標 2

まちの魅力と産業が世界に向けて輝く都市

個別目標 1

水と緑を大切にし、すべての人に安全で潤いのある暮らしを実現します

施策 1

魅力と個性あふれる都市をつくります

1 蒲田駅周辺のまちづくり **実施計画事業**

ランドデザインの重点としている「駅を中心とする地区整備」は、「蒲田駅周辺再編プロジェクト」に基づき、公共基盤を再整備するとともに、周辺街区の建物更新を促進しながら、蒲田駅周辺の一体的なまちづくりを進めます。

決 算 額	103,291,476 円	執 行 率	96.52%
主要施策の成果（平成 30 年度の取り組み内容）			進捗状況
【蒲田駅周辺再編プロジェクトの推進】 <ul style="list-style-type: none"> ○蒲田駅東口駅前広場検討部会を開催（4回）し、駅前広場コンセプト検討のためのキーワード出し及びコンセプトの決定、オブジェ及び喫煙所の設置可否の討議、施設配置の確認及び色彩計画の確認と選択、デザイン基本プランの確認等を行いました。 また、デザイン基本プラン（案）のパネル展示、整備イメージの3D動画上映会を開催（来場者延べ245人）しました。 ○蒲田駅周辺再編プロジェクトの中・長期整備における駅ビル等の建替えに際しての駐車場整備のあり方を検討するため、JR・東急蒲田駅周辺の駐車場利用実態調査を実施し、調査報告書を作成しました。 ○蒲田駅東西自由通路を含む中長期的な整備及び駅まちマネジメントについて、関係事業者（JR東日本、東急電鉄、東急不動産）との個別ヒアリング及び検討会を実施しました。 ○第15回蒲田都市づくり推進会議については、座長からの意見により、令和元年7月頃に実施することとしました。 ○東口地下自転車駐車場実施設計及び広場部予備設計委託が完了しました。 ○公社取得用地の仮囲い設置工事が完了し、地域からの要望により、用地の利活用を行うためのゲートを設置しました。 ○仮囲いの利活用として、地域の協力のもと、蒲田駅周辺の移り変わり等の写真や、大田区の魅力をPRする各種情報パネルの展示等を行いました。 			3
【駅周辺街区のまちづくり】 <ul style="list-style-type: none"> ○蒲田駅に近接する街区（駅を中心とした概ね半径200m）を対象に、共同建替えに係る意向調査を行い、駅前街区全体会を実施しました。 ○東口駅前街区地権者を対象とする全体会・勉強会等（10回）と事業説明会（4回）を開催しました。 			3
所管部	まちづくり推進部、都市基盤整備部		

2 大森駅周辺のまちづくり 実施計画事業

ランドデザインの公共基盤整備の重点としている池上通りの拡幅と、駅西口駅前公共空間の確保に向け、周辺街区も含めた駅西側の整備構想を策定し、実現に向けた取り組みを進めます。あわせて、臨海部への玄関口としてのまちの活性化を図ります。

決 算 額	82,717,505 円	執 行 率	96.67%
主要施策の成果（平成 30 年度の取り組み内容）			進捗状況
<p>【駅西側周辺のまちづくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○補助第 28 号線、(仮称) 大森駅西口広場の都市計画手続きに向けた関係機関協議を実施（東京都 12 回、警視庁 2 回、交通事業者 7 回）しました。 ○大森駅西側周辺の「都市基盤整備の考え方」について、大田区ホームページを活用したウェブアンケートを実施（4～5 月、計 39 日間）しました。 ○「大森駅西口周辺の都市基盤施設整備方針」を公表し、大田区ホームページを活用したウェブアンケートを実施するとともに、オープンハウス型説明会（12 月、計 4 日間）を開催しました。 ○(仮称) 大森駅西口広場の都市計画の位置付けと管理方法について、庁内調整会議を開催し、検討を進めました。 ○大森八景坂地区まちづくり協議会の支援では、大森八景坂地区のブランディングについて検討を深めました。 			3
<p>【駅周辺の活性化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○大森駅東口駅前広場の中長期整備について、地域住民等を交えた検討会議を立ち上げました。 ○平和島駅周辺の歩行者環境改善のため、関係機関協議（交通管理者 6 回、道路管理者 1 回）を実施しました。 			3
所管部	まちづくり推進部		

3 身近な地域の魅力づくり 実施計画事業

地域拠点である私鉄主要駅周辺において、歴史・文化・産業などの地域の特性を活かした魅力あるまちづくりを進めます。京急蒲田駅西口周辺では、地元関係者の合意形成を図りながら駅前空間や住環境・商業環境を整備し、同時に公共自転車駐車場や帰宅困難者受入施設の整備を進めます。糀谷駅周辺では、子育て支援施設、高齢者支援施設、防災倉庫、公共自転車駐車場などの公益施設の整備を行い、災害に強い快適なまちづくりを進めます。

決算額	45,055,872 円	執行率	92.71%
主要施策の成果（平成 30 年度の取り組み内容）			進捗状況
<p>【地域拠点駅周辺のまちづくり】</p> <p><大岡山駅周辺地区></p> <ul style="list-style-type: none"> ○未取得であった残り 3 画地の用地取得（土地開発公社による契約）が完了し、当該路線の用地取得率は 100%に到達しました。 ○区画街路第 1 号線整備工事（街路部その 3 区間整備工事（電線共同溝及び遊歩道整備その 1））を実施しました。 ○平成 29 年度に着手した区道 1-61 号線整備工事（電線共同溝）がしゅん工しました。 <p><池上駅及び池上本門寺周辺地区></p> <ul style="list-style-type: none"> ○地区の現況把握と、まちづくり協議会からの意見や課題等の整理を行い、今後のまちづくりの指針となる「池上地区まちづくりランドデザイン」を策定しました。また、池上駅周辺の歩行者空間及び本門寺参道の景観について検討を行いました。 <p><洗足池駅周辺地区></p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域住民との意見交換を開始し、まちの課題や将来像について検討しました。 <p><多摩川線沿線地区></p> <ul style="list-style-type: none"> ○沿線駅周辺の課題整理を行い、想定される多様なまちづくりのあり方について検討しました。 			3
<p>【京浜急行線連続立体交差事業に伴う京急蒲田駅西口、糀谷駅、雑色駅の周辺地区のまちづくり】</p> <p><京急蒲田駅西口周辺地区></p> <ul style="list-style-type: none"> ○センターエリアで検討されている街区別の共同建替え事業が早期に進むよう、まちづくり活動団体を総合的に支援しました。 <p><糀谷駅周辺地区></p> <ul style="list-style-type: none"> ○再開発事業の事後評価を行いました。 <p><雑色駅周辺地区></p> <ul style="list-style-type: none"> ○再開発事業に向けて地元地権者の合意形成を図るため、まちづくり活動団体を総合的に支援しました。 			3
所管部	まちづくり推進部、都市基盤整備部		

※【地域拠点駅周辺のまちづくり<大岡山駅周辺地区>】については、施策 2-1-2「2 都市計画道路の整備」の取り組み【区画街路第 1 号線（大岡山付近）/用地取得・整備】と同様の内容となります。決算額の重複を避けるため、当該経費は「2 都市計画道路の整備」にのみ計上しています。

4 美しいまちなみづくり

各地域の特性に応じた自然や多様な歴史資源、生活文化を、まちづくりに活かすため、平成 25 年 10 月に策定した「大田区景観計画」に基づき、個性と魅力あふれる良好な景観形成を誘導します。

決算額	7,949,732 円	執行率	87.51%
主要施策の成果（平成 30 年度の取り組み内容）			進捗状況
<p>【景観計画の推進】</p> <p>○大田区景観条例に基づく行為の事前協議は 137 件提出され、景観法に基づく行為の届出は 109 件、行為の通知は 13 件、行為の変更届出は 59 件、行為の完了報告は 86 件ありました。事前協議、行為の届出等の際し、大田区景観計画に定める景観形成基準に基づき、景観形成の誘導を図りました。</p> <p>○23 件の建築計画や外観の変更に対し、大田区景観アドバイザー会議に諮り、技術的助言を得ました。</p> <p>○第 2 回大田区景観まちづくり賞の授賞式を行い、応募総数 68 件のうち、街並み景観部門 6 件、景観まちづくり活動部門 2 件の表彰を行いました。</p> <p>○景観に関する意識の啓発を目的として、景観まちづくり賞授賞式に併せて講演会を開催しました。</p> <p>○大田区景観審議会を開催（1 回）しました。「第 3 回大田区景観まちづくり賞の実施について」及び「各種景観施策の取り組み検討について」を諮問し、「諮問のとおり定めることが適当である。」との答申を受けました。</p>			3
所管部	まちづくり推進部		

5 区民との連携・協働の推進

良好な生活環境の向上を図るために行う建築計画等に関する開発調整や、地域のまちづくりに関する課題解決に向けた自主活動への支援を行います。

決算額	6,772,700 円	執行率	70.49%
主要施策の成果（平成 30 年度の取り組み内容）			進捗状況
<p>【建築計画等に関する開発調整】</p> <p>○地域力を生かした大田区まちづくり条例第 22 条に基づく開発事業者との協議が成立し、協定を締結した件数は以下のとおりでした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住宅地開発事業：13 件 ・集団住宅建設事業：88 件 ・一定規模建設事業：26 件 ・合計：127 件 			3
<p>【地域まちづくり支援事業】</p> <p>○地区まちづくり協議会（6 団体）にまちづくり活動助成金を交付し、自主的なまちづくり活動を支援しました。</p>			3
所管部	まちづくり推進部		

基本目標 2	まちの魅力と産業が世界に向けて輝く都市
個別目標 1	水と緑を大切に、すべての人に安全で潤いのある暮らしを実現します
施策 2	快適な交通ネットワークをつくります

1 新空港線の整備推進 実施計画事業

国際化した羽田空港へのアクセス機能の強化は、区内の移動の利便性を向上させるとともに、人々の国内外への往来をさらに快適なものにします。JR・東急蒲田駅と京急蒲田駅を結ぶ新空港線の早期事業着手に向けた取り組みを推進します。

決 算 額	2,002,136,569 円	執 行 率	91.73%
主要施策の成果（平成 30 年度の取り組み内容）			進捗状況
<p>【関係者との協議及び事業推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○関係者合意に向け、大田区、東京都、鉄道事業者で費用負担割合や都市計画事業への位置付け等の協議を実施（担当者級 12 回、課長級 5 回、部長級 2 回、計 19 回）しました。 ○補助対象事業範囲については一定の整理が図られ、費用負担割合等については引き続き協議を進めていくこととしました。 ○早期の整備主体設立に向けて、勉強会を実施（資金調達関連 3 回、会社設立関連 4 回、計 7 回）しました。 			2
所管部	まちづくり推進部		

2 都市計画道路の整備 実施計画事業

主要幹線道路間の交通円滑化を図り、安全で快適な歩行者空間を確保するため、街路整備を推進します。平成 28 年度から 37 年度までの概ね 10 か年で整備する路線を示した「東京における都市計画道路の整備方針」を、東京都及び関係区市町で連携・協働して策定します。

決 算 額	1,026,031,728 円	執 行 率	81.66%
主要施策の成果（平成 30 年度の取り組み内容）			進捗状況
【区画街路第 1 号線（大岡山付近）/用地取得・整備】 ○未取得であった残り 3 画地の用地取得（土地開発公社による契約）が完了し、当該路線の用地取得率は 100%に到達しました。 ○区画街路第 1 号線整備工事（街路部その 3 区間整備工事（電線共同溝及び遊歩道整備その 1））を実施しました。 ○平成 29 年度に着手した区道 1-61 号線整備工事（電線共同溝）がしゅん工しました。			3
【補助第 44 号線その 2（上池台付近）/用地取得・整備・測量】 ○都市計画道路補助第 44 号線整備工事その 12（電線共同溝）は、特殊部の設置が完了し、管路部を半分程度敷設しました。 ○都市計画道路補助第 44 号線整備設計委託その 2（環七取付部）が完了し、平成 30 年 12 月に東京都へ事業認可資料を提出しました。			3
【補助第 43 号線（仲池上付近）/用地取得・整備・測量】 ○未取得用地の折衝を強化し、11 画地中 4 画地を取得しました。 ○都市計画道路補助第 43 号線整備工事設計委託（電線共同溝予備設計）を実施しました。			3
【補助第 38 号線（羽田旭町付近）/用地取得・整備・測量】 ○未取得用地 2 画地の折衝を実施し、工作物等の物件調査に至ったことで、任意の契約締結に向け進展がみられました。 ○都市計画道路補助第 38 号線整備工事その 2（電線共同溝）について、東糀谷区間西側部分を実施しました。			3
所管部	都市基盤整備部		

3 自転車等利用総合対策の推進 実施計画事業

「大田区自転車等利用総合基本計画に基づく整備計画」を推進し、自転車等駐車場や自転車走行環境を整備します。区民や鉄道事業者など関係機関との連携を強化し、駅周辺の放置自転車を含め自転車等利用者に対する交通ルールの遵守、交通マナーの向上などの対策を図ります。

決算額	196,088,727 円	執行率	80.89%
主要施策の成果（平成 30 年度の取り組み内容）			進捗状況
<p>【自転車等駐車場の整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○昭和島駅前自転車駐車場の改修工事を実施しました。収容台数は個別ロック式スライドラックの導入により 600 台（307 台増）になり、10 月に有料制として供用開始しました。 ○蒲田駅西蒲田公園自転車駐車場の改修工事を実施しました。隣接する撤去自転車保管所を閉鎖し、駐車台数を増やすとともに、利用者の利便性向上のため、ラックの入替工事を実施しました。収容台数は 1,343 台（745 台増）になり、平成 31 年 4 月に供用開始しました。 ○区役所本庁舎前自転車駐車場について、ゲートシステムの老朽化に伴う入替作業を行うとともに、利用者の利便性向上のため、ゲートを 1 基から 2 基へ増設しました。 ○蒲田駅東口地下自転車駐車場建築・設備実施設計委託を実施しました。 			3
<p>【自転車走行環境の整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自転車ナビマーク・ナビラインの整備を合計 15.9km 実施しました。 ○自転車推奨ルート整備について各関係機関との調整を行い、一部整備を実施しました。 ○自転車走行環境の利用啓発について、小学校へチラシを配布し、区設掲示板にポスターを掲示しました。 			3
<p>【コミュニティサイクル事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○区内全域でサイクルポート 24 か所を新たに設置しました。また、区報（5 月 11 日号、10 月 11 日号）への掲載や、蒲田駅東口駅前でのパネル設置（9 月から）等を通じて、事業の周知を図りました。 ○交通コンサルタント 4 業者と事業効果の検証方法について検討を行いました。 ○広域相互利用内における課題解決を図るための会議に参加（5 回）しました。 			A
<p>【ルール・マナーの教育・啓発】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自転車等駐車対策協議会を開催（7 月 26 日、1 月 28 日）しました。 ○糞谷、萩中通り商店街において、自転車押し歩き運動を実施（8 回）しました。 ○区報で交通安全啓発について記事を掲載（12 回）しました。また、職員向けに交通安全に関する意識啓発を実施（11 月、3 月）しました。 ○たまりバー交通安全啓発活動を実施（1 回、延べ 500 人に啓発ティッシュを配布）しました。 ○グリーンアクション多摩川で自転車の安全利用について呼びかけました（1 回、延べ 800 人に啓発グッズを配布）。 ○大田区クリーンキャンペーンを実施（5 月：4 回、参加者延べ 327 人 10～11 月：19 回、参加者延べ 780 人）しました。 			3
所管部	都市基盤整備部		

基本目標 2

まちの魅力と産業が世界に向けて輝く都市

個別目標 1

水と緑を大切にし、すべての人に安全で潤いのある暮らしを実現します

施策 3

潤いとやすらぎのあるまちをつくります

1 拠点公園・緑地の整備 実施計画事業

区内のみどりの総合的な機能拡充を図り、みどりの拠点を形成するため「都市計画公園・緑地の整備方針」に基づく優先整備区域の早期整備や羽田空港跡地などの臨海部や内陸部での新たなみどりの拠点となる公園・緑地の整備を進めます。

決算額	609,953,064 円	執行率	88.29%
主要施策の成果（平成 30 年度の取り組み内容）			進捗状況
【田園調布せせらぎ公園】 ○国庫補助金の申請手続き及び園内関連工事等との調整を行いました。 ○令和元年度中の用地確保を目指し、地権者との調整を行いました。 ○田園調布せせらぎ公園拡張部暫定広場整備工事が完了しました。 田園調布せせらぎ公園改良工事設計委託については、文化施設建築工事の施工計画を考慮し施行範囲を縮小したことから、委託によらず職員による設計を行いました。			3
【佐伯山緑地】 ○都市計画事業が完了しました。 ○用地取得は、土地開発公社が代行取得したⅡ期地用地（約 3,475 m ² ）の買戻しを予定どおり3か年（平成 28 年度から 30 年度まで）で完了しました。 ○佐伯山緑地造成工事その 5 及び佐伯山緑地周辺道路整備工事設計が完了しました。			3
【洗足池公園】 ○都市計画事業については、事業認可範囲の変更及び事業認可期間の延伸（令和 2 年度末まで）を実施しました。 ○洗足池の水環境改善に向け、基礎調査その 2（生物調査）を実施しました。また、洗足池公園拡張整備基本計画委託を実施しました。			3
【多摩川台公園】 ○多摩川台公園バリアフリー工事を行いました			A
【羽田空港跡地の広場緑地整備】 ○多摩川親水緑地工事その 1 を実施しました。			3
所管部	空港まちづくり本部、都市基盤整備部		

※【羽田空港跡地の広場緑地整備】については、施策 2-2-1 「2 水と緑のふれあいゾーンの整備」の取り組み【多目的広場などの整備推進】の一部となります。決算額の重複を避けるため、当該経費は「2 水と緑のふれあいゾーンの整備」にのみ計上しています。

2 地域に根ざした公園・緑地の整備 実施計画事業

区民との協働による公園・緑地の新設・拡張やリニューアル整備などの機会をとらえ、多様な世代の人が利用しやすく、「地域の庭・広場」として地域に親しまれ、区民に愛される魅力ある公園づくりを進めます。

決 算 額	667,859,025 円	執 行 率	88.62%
主要施策の成果（平成 30 年度の取り組み内容）			進捗状況
【公園の新設・拡張整備】 ○西四児童公園改良工事設計委託及び仲六郷二丁目公園改良工事設計委託が完了しました。 ○みなさん公園改良工事、水神公園改良工事その 2 及び多摩川親水緑地工事その 1 が完了しました。 ○田園調布五丁目緑地（鷹の入樋）については、先行して実施する下水道工事（東京都施工）との工程計画及び施工手法等について協議を行いました。			3
【大規模公園の移動円滑化整備】 ○平和島公園の改良工事を都市計画事業として実施するため、事業認可を取得（令和 5 年度末まで）しました。 ○平和島公園改良工事設計委託が完了しました。 ○多摩川台公園改良工事その 4 を完了しました。			3
【公園リニューアル・長寿命化対策の推進】 ○平和島公園改良工事設計委託、蘇峰公園擁壁工事予備設計委託、京浜蒲田公園改良工事基本計画及び大鳥居児童公園改良工事設計委託が完了しました。 ○東糞谷第一公園改良工事その 2、池上梅園改良工事その 4 及び仲一ひばり児童公園改良工事が完了しました。			3
【大森南圃場の再整備】 ○令和元年度以降の事業化に向けて、庁内の調整を進めました。			3
【遊具の安心・安全対策の推進】 ○遊具点検 平成 29 年度公園遊具点検の遊具診断判定結果に基づき、劣化判定、塗装判定で C 判定となった施設について対策を実施しました。			3
【健康遊具の整備】 ○福祉部や東京工科大学等と連携を図り、いきいき健康公園づくりを進めるため、公園緑地ストック活用基礎調査の中で、健康遊具に関する整備計画の作成に向けた考え方や方向性を示しました。			3
【樹木の保全更新】 ○サクラの保全・更新のため、洗足池公園及び多摩川台公園において、樹木の伐採・植付けを行いました（洗足池公園 10 本、多摩川台公園 5 本更新）。			3
【公園整備方針の改訂】 ○平成 28 年度に実施した公園利用実態調査及び 29 年度に実施した公園緑地ストック活用基礎調査の結果に基づき、「公園緑地ストック活用基礎調査その 2」を実施し、整備・維持管理・利活用方針（素案）及び「地域に根ざした公園整備計画（素案）」を策定しました。			A
所管部	都市基盤整備部		

3 多摩川ふれあいの場の整備

多摩川で活動する区立小学校やNPO法人などと連携しながら、「水辺の楽校」による自然体験や環境学習をはじめ、区民が多摩川に親しみながら相互交流を図れるような事業を支援します。

決算額	0円	執行率	—%
主要施策の成果（平成30年度の取り組み内容）			進捗状況
【「水辺の楽校」活動の支援】 ○うのき・羽田二つの「水辺の楽校」について、引き続き、教育総務課、環境対策課、都市基盤管理課の3課が連携し、多摩川の自然体験やボート教室などの活動をそれぞれの役割分担に応じて支援しました。			3
【ふれあい拠点の整備】 ○区内3か所目となる「水辺の楽校」（やぐちのわたし水辺の楽校）について協議会を立上げ、全面的な支援を行った結果、「子どもの水辺」として登録することができました。			3
所管部	都市基盤整備部		

※水辺の楽校とは、河川における子供たちの環境学習・自然体験の推進を目的に、国土交通省が「子供の水辺協議会」の構想を「子どもの水辺」として認定し、ハード・ソフト面の活動支援を行う制度です。

4 呑川緑道の整備（風の道のまちづくり）

実施計画事業

呑川は水と緑の環境軸として、川沿いの道路や護岸の緑化、景観と環境に配慮した舗装などの散策路整備を進めます。呑川の歴史や自然環境など地域資源を活かして、観光の視点を取り入れたサイン整備を引き続き進めます。

決算額	30,146,655円	執行率	76.30%
主要施策の成果（平成30年度の取り組み内容）			進捗状況
【緑道整備】 ○整備工事を実施（南雪谷五丁目、延長147m）しました。 ○東雪谷三丁目付近の呑川緑道整備に関する設計委託が完了しました。			3
所管部	都市基盤整備部		

5 桜のプロムナードの整備 実施計画事業

水と緑のネットワークの充実を図るため、かつての内川の流れや洗足流れ、馬込桜並木に至る散策路整備を進めます。散策路沿いの歴史や自然環境など地域資源を活かして、観光の視点を取り入れたサイン整備を進めます。

決算額	112,178,520 円	執行率	89.00%
主要施策の成果（平成 30 年度の取り組み内容）			進捗状況
【散策路整備】 ○整備工事を実施(南馬込五丁目、延長 149m)しました。			3
【サイン整備】 ○サイン整備（78 か所）が完了しました。			3
所管部	都市基盤整備部		

6 地域力を活かしたみんなのみどりづくり 実施計画事業

ふれあいパーク活動やおおた花街道など、区民、事業者、行政の連携による道路・公園などの維持管理や利活用を推進します。公園・緑地などを地域住民が「地域の庭・広場」として利活用できるような活動を支援します。

決算額	33,874,780 円	執行率	93.41%
主要施策の成果（平成 30 年度の取り組み内容）			進捗状況
【ふれあいパーク活動の推進】 ○参加団体の増加に向け、幅広く広報及び公募活動を実施しました。 ・区統合ポスターに募集記事を掲載し、区設掲示板で周知しました。 ・区報で事業紹介及び参加団体募集を行いました。 ○「ふれあいパークニュース」を作成・配布（57 か所、合計 4,000 部）しました。			3
【おおた花街道の推進】 ○7 地区（田園調布二丁目地区、鶴の木二・三丁目地区、大岡山駅前広場、久が原地区、山王二丁目地区、池上六・七丁目地区、東矢口一・二丁目地区）における活動を支援（参加者延べ人数 820 人）しました。 ○事業の現状と課題について、部内で検討しました。			3
【公園施設利活用の推進】 ○平和の森公園展示室の施設活用について、運營業務を委託している NPO 団体とのさらなる連携・協力を図り、公園施設としての定着、利用者の一層の増加を目指して取り組みを進めました。 ○洗足池公園休憩所工事が完了しました。			3
【拠点公園における公民連携の推進】 ○拠点公園となる 15 公園について、維持管理・運用に関する基礎調査を実施し、公民連携手法の導入に向けた検討を行いました。			A
所管部	都市基盤整備部		

基本目標 2	まちの魅力と産業が世界に向けて輝く都市
個別目標 1	水と緑を大切にし、すべての人に安全で潤いのある暮らしを実現します
施策 4	安全で安心して暮らせるまちをつくります

1 木造密集市街地の整備促進 実施計画事業

不燃化建替え助成などを行い、木造住宅が密集する市街地、地区防災道路沿道の不燃化・耐震化を促進します。

決 算 額	300,768,429 円	執 行 率	80.48%
主要施策の成果（平成 30 年度の取り組み内容）			進捗状況
【住宅市街地総合整備事業】 ○幅員 6 m への拡幅を位置づけた重点整備路線の沿道地権者に対し、用地買収に関する具体的な折衝を行い、6 件の土地売買契約を締結しました。 ○羽田地区の地区計画について原案・案を決定し、説明会を開催するとともに、縦覧・意見書募集を実施しました。さらに都市計画審議会に諮問し、同案のとおり定めることが適当である旨の答申を受け、地区計画を決定しました。			3
【都市防災不燃化促進事業】 ○窓口等で事業の周知に努め、「大森中・糀谷・蒲田地区防災街区整備地区計画」の区域内における地区防災道路周辺の建物の建替え促進を図りました。 ○平成 30 年度の助成実績は、交付件数 13 件でした。			3
【不燃化特区制度を活用した不燃化まちづくり助成事業】 ○助成実績は、戸建て・共同建替えが 19 件、老朽建築物除却が 19 件、壁面後退奨励金が 1 件でした。 ○大森中地区において、地域住民等により構成された防災まちづくりの会が行う不燃化特区制度の利活用促進のための資料作成等を支援し、事業周知や助成制度の利用拡大に努めました。			3
所管部	まちづくり推進部		

2 建築物の耐震改修促進 実施計画事業

耐震化助成などを行い、主要道路沿道の民間建築物などの耐震化を促進します。

決 算 額	355,871,452 円	執 行 率	91.16%
主要施策の成果（平成 30 年度の取り組み内容）			進捗状況
【住宅・マンションなどの耐震化促進】 ○平成 30 年度の耐震化助成実績は、診断 104 件、設計 61 件、工事 63 件、アドバイザー派遣 2 件でした。28 年度に拡充した分譲マンション耐震化アドバイザー制度を個別訪問により周知する等、普及啓発を強化した結果、分譲マンションにおける助成実績は、診断 5 件（122 戸）と耐震化の促進を図りました。 ○対象となる木造住宅全戸に対し、平成 28 年度から 3 か年計画で助成制度を個別に周知する取り組みを開始しました。平成 30 年度は約 6,500 戸に個別周知を行い、うち 51 件の希望者に個別訪問を行った結果、新たに 78 件の耐震診断助成の申請がありました。			3

<p>【特定緊急輸送道路建築物耐震化助成】</p> <p>○平成29年度から大幅に拡充した特定緊急輸送道路沿道建築物助成制度について、平成30年度は新たに建替えの設計も助成対象に追加しました。建物所有者に対し個別に利用を働きかけ、設計8件、工事4件の助成を行いました。</p>	A
<p>【沿道耐震化道路沿い建築物の耐震化促進】</p> <p>○耐震化促進を図るため、助成制度の個別周知を行い、利用促進を図りました。</p> <p>○平成30年度の耐震化助成実績は、診断1件、設計1件、工事2件でした。</p>	3
<p>所管部</p>	まちづくり推進部

3 橋梁の耐震性の向上 実施計画事業

区が管理する橋梁の中で、緊急道路障害物除去路線や鉄道を跨ぐ橋梁など、防災上重要な優先対策橋梁73橋のうち、未整備の橋の架替え・耐震補強整備を計画的に進めます（33橋の架替え整備・耐震補強整備に着手）。

決 算 額	425,934,109 円	執 行 率	64.36%
主要施策の成果（平成30年度の取り組み内容）			進捗状況
<p>【架替え整備】</p> <p>○三ツ木橋の実施設計に着手しました。</p> <p>○貳之橋の基本設計が完了しました。</p> <p>○諏訪橋架替工事は二年工期の初年度が予定どおり進捗しました。</p>			3
<p>【耐震補強整備】</p> <p>○呑川・海老取川に架かる橋梁</p> <ul style="list-style-type: none"> ・耐震補強設計4橋（久根橋、長栄橋、旭橋、末広橋）を完了しました。 ・芹ヶ谷橋構造改良工事は二年工期の初年度が予定どおり進捗し、天空橋は工事を完了しました。 <p>○跨線橋（鉄道を跨ぐ橋梁）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第二中谷跨線人道橋の工事が完了し、富士見橋の工事は予定どおり進捗しました。 ・新根方橋については関係機関との協定枠組みを決定し、細部については継続して協議を実施することとしました。 ・JR各社の工事期間調整として、八橋耐震補強工事に着手しました。 			4
所管部	都市基盤整備部		

4 下水道の整備

東京都と連携しながら、下水道管の耐震性の強化や、雨水管整備による排水能力の向上など、区民の安全と快適な暮らしを支える下水道の整備を進めます。

決算額	496,686,168 円	執行率	92.99%
主要施策の成果（平成 30 年度の取り組み内容）			進捗状況
【雨水管などの整備】 ○下水道局による上沼部雨水幹線（田園調布地区＜下水道分流地区＞）整備工事の着手に向けて、関係者協議や施工ヤード確保などに協力しました（工事着手済み）。また、幹線整備後の枝線整備について下水道局と協議を行いました。 ○久が原五・六丁目付近管渠改良工事（下水道）が完了しました。			3
【下水道管の耐震化】 ○区内残留地区（蒲田地区、京浜島地区）の下水道管路耐震化工事が完了しました。 ○避難所及び災害復旧拠点等の下水道管路耐震化工事が完了しました。			3
所管部	都市基盤整備部		

5 総合治水対策

頻発する集中豪雨や台風などの大雨から区民の安全を守り、安心できる生活を支えるために、道路・公園・建物などからの雨水の流出を抑制し、下水道や河川に流入する雨水の量を軽減する総合的な治水対策に取り組みます。

決算額	99,092,189 円	執行率	72.87%
主要施策の成果（平成 30 年度の取り組み内容）			進捗状況
【浸水被害地区浸水対策の東京都との連携】 ○区内の浸水対策の早期実現に向け、東京都下水道局と連携しながら具体的な対策について調整を行いました。 ○上池台地区の浸水対策におけるバイパス管きょ整備事業工事の施工ヤードとして使用している仲池上広場の復旧等について、下水道局、池上長寿園と協議を行いました。また、到達側の施工ヤードである開光坂児童公園の使用等について協議を行いました（6/27 第二回工事説明会実施）。			3
【透水性舗装】 ○道路整備工事において、透水性舗装を実施（オリンピック・パラリンピック施設周辺道路整備工事、新設交差道路整備工事、大区街 1 街路部その 3 区間整備工事、桜のプロムナードの整備、補 38 整備工事その 2、舗装面積合計 4,078 m ² ）しました。 ○公園工事において、透水性舗装を実施（多摩川台公園、みなさん児童公園、佐伯山緑地、池上梅園、舗装面積合計 2,096 m ² ）しました。			3
【道路、公園などの浸透ますの設置】 ○道路において、雨水浸透ます設置工事を実施（上池台四丁目付近、10 か所）しました。 ○公園において、雨水浸透ます設置工事を実施（多摩川台公園、みなさん児童公園、佐伯山緑地、東糀谷第一公園、合計 40 か所）しました。			3

<p>【開発事業者に対しての雨水流出抑制の指導】</p> <p>○区報掲載による制度周知のほか、おおた住まいづくりフェアへの出展や窓口におけるパンフレット配布、デジタルサイネージでの放映など、積極的な周知・広報活動を行った結果、雨水貯留槽設置については168件（小型197基、大型1基）、雨水浸透施設設置については1件の助成実績につながりました。</p>	3
<p>所管部 まちづくり推進部、都市基盤整備部</p>	

6 災害時水上輸送ネットワークの向上

災害時における水上輸送ネットワークを構築するため、河川や運河を利用した緊急時の輸送ルート確保や船着場の整備・改築を行うとともに、関係団体などとの連携体制を強化します。

決 算 額	0 円	執 行 率	— %
主要施策の成果（平成30年度の取り組み内容）			進捗状況
<p>【防災船着場の整備・改築】</p> <p>○羽田空港天空橋船着場の外観調査結果に基づき、橋梁部の一部塗装修繕の方法を決定しました。</p>			3
<p>【関係団体などとの連携】</p> <p>○平成30年10月及び31年3月に、東京都主催の水上ルート作業部会情報通信訓練に参加し、船着場の利用や船舶の支援要請等の手続きについて確認しました。</p> <p>○大田区を配送エリアとしてカバーする「ヤマト運輸株式会社新東京主管支店」と意見交換の場を設定し、具体的な協定案の交渉を行い、概ね合意が得られました。</p>			3
<p>所管部 総務部、都市基盤整備部</p>			

7 移動を円滑にするユニバーサルデザインの推進

「ユニバーサルデザインのまちづくり基本方針」及び「移動等円滑化推進方針」に基づき、多くの人が集まる拠点や公共施設、民間施設のユニバーサルデザイン環境を充実させます。

決 算 額	1,070,000 円	執 行 率	74.18%
主要施策の成果（平成30年度の取り組み内容）			進捗状況
<p>【かまた街なか” すいすい” プラン（移動等円滑化推進計画）の実施】</p> <p>○蒲田駅周辺地区で特定事業を実施する事業者を対象に、事業の進捗管理を実施しました。</p> <p>○大田区移動等円滑化推進協議会を開催（1回、出席者31人）し、特定事業の進捗状況を報告しました。また、協議会では、改正が予定されているバリアフリー法をはじめ、関連施策の見直しの内容等について委員長から情報提供をいただき、関係者間で最新の国の動向を確認することができました。</p>			3
<p>【おおもり街なか” すいすい” プラン（移動等円滑化推進計画）の実施】</p> <p>○大森駅周辺地区で特定事業を実施する事業者を対象に、事業の進捗管理を実施しました。</p> <p>○大田区移動等円滑化推進協議会を開催（1回、出席者31人）し、特定事業の進捗状況を報告しました。また、協議会では、改正が予定されているバリアフリー法をはじめ、関連施策の見直しの内容等について委員長から情報提供をいただき、関係者間で最新の国の動向を確認することができました。</p>			3

【主要拠点及び生活関連施設などの点検及び整備】 ○蒲田駅西口広場で改修整備完了後の点検を実施（5/30、参加者22人）しました。	3
【区有施設のユニバーサルデザインの点検及び整備】 ○平和島公園で改修整備前の点検を実施（6/29、参加者47人）しました。 ○千鳥いこい公園で改修整備完了後の点検を実施（10/31、参加者26人）しました。	3
所管部 まちづくり推進部、都市基盤整備部	

※【かまた街なか”すいすい”プラン（移動等円滑化推進計画）の実施】と【おおもり街なか”すいすい”プラン（移動等円滑化推進計画）の実施】については、一体的に取り組んだため、主要施策の成果（平成30年度の取り組み内容）は同様の記載となります。

8 都市基盤施設の維持更新 実施計画事業

道路・橋梁などの維持管理手法を対症療法型から予防保全型へ転換し、都市基盤施設を延命化するとともに、PDCAサイクルに基づく計画的な維持管理を行い、施設の安全性を確保します。

決算額	752,918,903 円	執行率	85.72%
主要施策の成果（平成30年度の取り組み内容）			進捗状況
【橋梁長寿命化修繕計画の推進 ー橋梁の補修ー】 ○補修設計3橋（五之橋、五之橋添架人道橋、大森北六歩道橋）を完了しました。 ○補修工事2橋（鶴林橋、妙見橋）を完了しました。			3
【道路の維持・更新計画の推進 ー道路の維持・更新ー】 ○アスファルト舗装工事を以下のとおり実施しました。 【大森地区】舗装面積合計2,513㎡ ・南馬込三丁目37番から39番先 ・南馬込五丁目25番から四丁目8番先外2か所 ・南馬込三丁目4番から9番先 ・山王三丁目34番から35番先外1か所 【調布地区】舗装面積合計2,095㎡ ・南雪谷二丁目15番先 ・久が原一丁目39番から東嶺町13番先 ・石川町一丁目17番から13番先 ・田園調布三丁目41番から40番先 【蒲田地区】舗装面積合計2,846㎡ ・西六郷四丁目35番から8番地先 ・東蒲田二丁目3番から5番地先外2か所 【糎谷・羽田地区】舗装面積合計1,350㎡ ・大森南一丁目5番から12番地先外2路線 ○路面下空洞調査委託を実施しました。 ・生活道路 延長54km ・道路障害物除去路線と主要路線 延長209km			3
所管部	都市基盤整備部		

9 生活安全の確保

区道に設置されている街路灯を、環境面とライフサイクルコストに優れた LED 街路灯として整備することで、歩行者や自転車の夜間における視認性を高め、区道における安全を確保します。私道における防犯灯設置助成を自治会・町会などに行うとともに、区民と連携したパトロールを行い、地域の生活安全を確保します。

決 算 額	447,550,875 円	執 行 率	95.20%																																																																								
主要施策の成果（平成 30 年度の取り組み内容）			進捗状況																																																																								
<p>【LED 街路灯整備の推進】</p> <p>○以下のとおり、大型街路灯等改良工事を完了しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大型街路灯改良工事 <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">大森地区</td> <td style="width: 10%;">396 灯</td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> </tr> <tr> <td>調布地区</td> <td>23 灯</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>糎谷・羽田地区</td> <td>33 灯</td> <td style="text-align: center;">合計</td> <td></td> <td style="text-align: right;">452 灯</td> <td></td> </tr> </table> ・装飾灯改良工事 <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">大森駅周辺</td> <td style="width: 10%;">149 灯</td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> </tr> <tr> <td>蒲田駅周辺</td> <td>142 灯</td> <td style="text-align: center;">合計</td> <td></td> <td style="text-align: right;">291 灯</td> <td></td> </tr> </table> <p>○以下のとおり、小型街路灯改良工事を完了しました。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">大森地区</td> <td style="width: 10%;">1,270 灯</td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> </tr> <tr> <td>調布地区</td> <td>598 灯</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>蒲田地区</td> <td>576 灯</td> <td style="text-align: center;">合計</td> <td></td> <td style="text-align: right;">2,444 灯</td> <td></td> </tr> </table> <p>○以下のとおり、公園灯改良工事を完了しました。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">大森地区</td> <td style="width: 10%;">193 灯</td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> </tr> <tr> <td>調布地区</td> <td>145 灯</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>蒲田地区</td> <td>90 灯</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>糎谷・羽田地区</td> <td>158 灯</td> <td style="text-align: center;">合計</td> <td></td> <td style="text-align: right;">586 灯</td> <td></td> </tr> </table>			大森地区	396 灯					調布地区	23 灯					糎谷・羽田地区	33 灯	合計		452 灯		大森駅周辺	149 灯					蒲田駅周辺	142 灯	合計		291 灯		大森地区	1,270 灯					調布地区	598 灯					蒲田地区	576 灯	合計		2,444 灯		大森地区	193 灯					調布地区	145 灯					蒲田地区	90 灯					糎谷・羽田地区	158 灯	合計		586 灯		3
大森地区	396 灯																																																																										
調布地区	23 灯																																																																										
糎谷・羽田地区	33 灯	合計		452 灯																																																																							
大森駅周辺	149 灯																																																																										
蒲田駅周辺	142 灯	合計		291 灯																																																																							
大森地区	1,270 灯																																																																										
調布地区	598 灯																																																																										
蒲田地区	576 灯	合計		2,444 灯																																																																							
大森地区	193 灯																																																																										
調布地区	145 灯																																																																										
蒲田地区	90 灯																																																																										
糎谷・羽田地区	158 灯	合計		586 灯																																																																							
<p>【防犯灯設置助成】</p> <p>○地域力推進地区委員会における自治会・町会への事業説明等、事業周知に努めた結果、当初想定 74 基に対し、131 基（37 件）の助成実績につながりました。</p>			4																																																																								
所管部	まちづくり推進部、都市基盤整備部																																																																										

10 交通安全の推進

J R京浜東北線・東海道線を横断している学校踏切などにおいて、電車との接触事故の危険性を無くすため、安心して、安全に横断できる施設の整備を進めます。また、子どもから高齢者まで幅広い世代を対象に、交通安全意識の普及と浸透を図るとともに、交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を習慣付けることにより交通事故防止を図ります。

決 算 額	25,075,844 円	執 行 率	97.75%
主要施策の成果（平成 30 年度の取り組み内容）			進捗状況
【踏切における安全対策の推進】 ○学校踏切における安全啓発運動を実施（4月：6日間、9月：5日間、12月：5日間）しました。			3
【交通安全教育の推進】 ○交通安全移動教室を区内保育園で実施（90回）しました。 ○自転車教室を大森西交通公園で実施（3回、参加者延べ150人）しました。 ○スケアード・ストレイト方式の交通安全教室を実施（中学校9回、一般向け1回）しました。 ○高齢者施設で高齢者交通安全集会を実施（30回）しました。 ○幼稚園児・保育園児及び小学生を対象に交通安全だよりを発行（約16万部）しました。			3
所管部	都市基盤整備部		

※スケアード・ストレイトとは、「恐怖を直視する」という意味で、自転車の重大事故を防止するためスタンマンが自転車事故を再現することで、自転車のルール違反がなぜ危険なのか参観者に視覚的に理解してもらうことです。

11 空家等対策の推進

実施計画事業

新規

大田区空家等対策計画に基づき平成28年8月に開設した空家総合相談窓口において、空家等の適切な維持管理や活用等に関する区民からの様々な相談に応じることで、空家対策を推進します。

決 算 額	27,998,375 円	執 行 率	85.76%
主要施策の成果（平成30年度の取り組み内容）			
【相談体制の充実】 ○空家総合相談窓口で692件、毎月1回開催している空家総合相談会で43組の相談を受けました。 ○管理不全な空家の発生予防のため、高齢者に関する地域包括支援センター連合会や介護保険事業者連絡会及び10月21日号区報の1面で空家総合相談窓口や空家総合相談会の周知を行いました。			A
【空家等の活用】 ○空家の活用に関する相談（所有者延べ36件、利用者延べ130件）を受け、所有者8件、利用者11件を空家等地域貢献活用事業に登録しました。 ○空家所有者と利用者との間で、マッチングが4件成立しました。 ○空家等地域貢献活用事業補助金の助成対象者を募集した結果、1件の応募があり、1件に補助金を交付しました。 ○遺贈を受けた空家を、空家活用事業研究施設として活用することで、効果的な空家の活用方法や地域へ与える影響を調査しました。（令和2年度まで引き続き実施）			A
【空家等の適正管理】 ○空家等対策審議会を開催（3回）しました。 ○空家等庁内調整会議（3回）及び同作業部会（3回）を開催しました。 ○特定空家等1件に指導を行いました。 ○空家に関する陳情（198件）等を受け、管理不全な空家所有者等に対し、改善を求める文書を158件送付しました。			A
所管部	まちづくり推進部		

基本目標 2

まちの魅力と産業が世界に向けて輝く都市

個別目標 2

首都空港『羽田』と臨海部が世界への扉を開く、国際交流拠点都市を創ります

施策 1

世界へ羽ばたくまちをつくります

1 世界と交流しにぎわう産業支援・文化交流施設の整備

実施計画事業

産業支援機能や国内外の人々が交流できる機能とともに、羽田の歴史を後世に伝えるコーナーを備えた施設の整備を進めます。自然エネルギーの活用など環境に配慮したまちづくりを検討します。

2 水と緑のふれあいゾーンの整備

実施計画事業

多目的広場の整備を推進し、潤いとやすらぎの親水緑地空間を創出します。あわせて、地域の防災機能の強化に資する空間としての整備を進めます。

3 空港跡地の交通結節点機能の充実

実施計画事業

交通結節点機能を強化するため、天空橋駅前広場や跡地第1ゾーン内の道路などの整備を進めます。

決 算 額	16,857,133,609 円	執 行 率	99.95%
主要施策の成果（平成 30 年度の取り組み内容）			進捗状況
<p>【産業支援・文化交流施設の整備推進】【多目的広場などの整備推進】</p> <p>【駅前広場及び道路などの整備推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○第一期事業整備について、鹿島建設株式会社を代表企業とする 9 社からなる羽田みらい開発株式会社と事業契約を締結し、10 月 31 日に起工式が行われ、着工となりました。 ○跡地第 1 ゾーン第一期事業予定地を取得し、そのうち一部について、事業者への貸付を開始しました。 ○区内企業と海外ベンチャーの連携創出事業実証実験において、6 か国で周知・募集を行い、計 52 案件の申し込みがありました。その中から 3 案件を採択し、試作開発に向けたマッチングを行いました。 ○試作開発に向けたキックオフイベントを開催し、海外ベンチャー 6 チームを含む約 80 人が参加しました。 ○マッチングした 3 チームの成果発表会をおおた工業フェア内で実施しました。成果発表会には約 80 人が参加しました。 ○関係団体等と連携し、『国際都市おおたフェスティバル in 「空の日」羽田』、OTAふれあいフェスタ等のイベントにおいて跡地第 1 ゾーン整備事業 PR コーナーを展開し、跡地まちづくりの理解促進に取り組みました。 ○大阪国際空港就航都市事務担当者会議に参加し、羽田空港跡地第 1 ゾーンの取り組み等について多くの自治体に周知するとともに、ネットワーク拡充を図りました。 ○第 2 ゾーン多摩川親水緑地については、平成 31 年 4 月の開園に向けた各種手続きや工事を進めました。また名称を公募した結果、区内外から多数の応募があり、「ソラムナード羽田緑地」に決定しました。 ○国土交通省が第 1 ゾーン高潮堤防整備工事に着手しました。河川管理者と、ソラムナード羽田緑地との一体性・連続性確保や、水辺空間の活用を図るための協議を進めました。 ○第一期事業以降の展開について、「2020 年時暫定土地活用事業」に係るサウンディング調査を実施し、事業者からの意見を聴取しました。 ○跡地第 1 ゾーンで UR 都市機構により進められている都市基盤整備工事について、引き続き事業の進捗管理を行うとともに、第一期整備・運営事業者との工事調整等を並行して進めました。また、今後整備が予定されている電線共同溝や道路施設等について、交通管理者をはじめとする関係機関と協議・調整を実施しました。 			3
所管部	産業経済部、空港まちづくり本部		

基本目標 2	まちの魅力と産業が世界に向けて輝く都市
個別目標 2	首都空港『羽田』と臨海部が世界への扉を開く、国際交流拠点都市を創ります
施策 2	未来につながる空港臨海部をつくります

1 空港臨海部土地利用(活用)の誘導 実施計画事業

空港臨海部の産業のあり方や空港・港湾に隣接する立地特性を活かした土地利用(活用)の誘導などについて、にぎわい・観光の視点も踏まえながら地域との連携を積極的に図り、具体化します。

決算額	15,660,000 円	執行率	100.00%
主要施策の成果(平成 30 年度の取り組み内容)			進捗状況
<p>【重点プロジェクトの検討・推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○各島連絡協議会(昭和島 1 回、城南島 1 回)及び 3 島全体連絡協議会(1 回)を開催しました。各島の協議会では、各島における事業の進捗状況等を確認し、全体協議会において各島の取り組みを共有しました。 ○京浜島では、まちづくりビジョン検討会を開催(4 回)しました。策定したアクションプランの年度計画に基づき、ビジョン実現に向けた先進事例視察や島内道路環境に関するアンケート調査を行ったほか、京浜島ニュースの発行(3 回)、島内企業向け工場見学会(京浜島オープンファクトリー、3 日間、参加企業 14 社、参加者 26 人)を実施しました。 ○羽田旭町周辺地区について、開発事業者と締結した協定に基づき、旧整備場地区へのアクセス確保を目的とした海老取川を渡る人道橋整備に関して、関係機関との協議調整を開始しました。 ○流通センター駅周辺地区では、開発計画の完了に合わせて、事業者と締結した協定に基づき、防災船着場整備に向けた準備を進めました。 ○大森ふるさとの浜辺公園周辺地区では、桜のプロムナードの一部である内川沿いの散策路を中心に、公園へのアクセス性向上に向けた具体的な整備方策及び公園の活性化策を検討しました。 			3
所管部	まちづくり推進部		

※本事業と「3 空港臨海部交通ネットワークの拡充」は、一部一体的に取り組んだため、決算額は統合しています(重複を避けるため本事業のみに計上)。

2 中央防波堤埋立地の将来構想の検討

帰属問題について区民、区議会とも一体となって早期解決を図り、空港臨海部において、中央防波堤埋立地のポテンシャルを最大限に活かした将来の構想を国、都等関係機関とも協議しながら検討します。

決 算 額	0 円	執 行 率	— %
主要施策の成果（平成 30 年度の取り組み内容）			進捗状況
【関係機関との連携】 ○公正公平かつ合理的な解決をめざし、東京地方裁判所で開かれた口頭弁論期日において、大田区の主張及び江東区の主張への反論を述べました。 <ul style="list-style-type: none"> ・第2回口頭弁論期日（4月27日） ・第3回口頭弁論期日（6月22日） ・第4回口頭弁論期日（10月12日） ・第5回口頭弁論期日（12月10日） ・第6回口頭弁論期日（2月22日） 			3
【当区の主張の確立強化とアピール】 ○訴訟における各口頭弁論期日において、最高裁判所が示した境界決定の基準に基づいた本区の考え方を丁寧に主張しました。			3
【将来構想の調査研究】 ○東京都は「『3つのシティ』の実現に向けた政策の強化（2019年度）」（平成31年1月）において、国際競争力強化のための外貿コンテナふ頭の整備推進として、中央防波堤外側埋立地を位置付けました。大田区も、訴訟における準備書面において「おおた都市づくりビジョン」（平成29年3月）に基づき、国際競争力強化のための大田区空港臨海部及び中央防波堤埋立地の一体的な活用を主張しました。			3
所管部	企画経営部		

3 空港臨海部交通ネットワークの拡充 実施計画事業

空港臨海部の将来構想及び交通ネットワーク基礎調査を基に、空港臨海部のまちづくりと連動した道路網、公共交通機関、舟運などの交通ネットワークを拡充・整備します。国道 357 号の多摩川以南の整備促進を働きかけることにより、空港アクセス及び都市間交通を円滑化します。

決 算 額	— 円	執 行 率	— %
主要施策の成果（平成 30 年度の取り組み内容）			進捗状況
【空港臨海部道路網の計画検討・整備促進】 ○臨海部の物流機能を支え、羽田空港周辺や隣接都市を連絡する国道 357 号多摩川トンネルの早期整備を国に対して要望しました。 ○東京外かく環状道路について、事業化の目途が立っていない区間に関して、計画や事業スケジュール等の早期提示、事業着手前の区民に対する丁寧な説明の実施等を、国に対して要望しました。 ○臨海部における多様な交通手段の活用として、京浜島、昭和島、城南島の各島へのコミュニティサイクルポートを設置し、利便性の向上を図りました。			3
【公共交通、舟運及び新たな交通システムの検討、整備】 ○内陸部から臨海部へのアクセスを改善するため、JR 大森駅から京浜島間の輸送力増強についてバス事業者と連携した結果、通勤などピーク時間のバスが増便されました。 ○舟運の社会実験では、大森ふるさとの浜辺公園船着場を発着場所とし、しながわ水族館のあるしながわ区民公園を往復する検証運航を実施（夏 1 回、乗船者数 26 人）しました。また、次年度以降の定期航路開設に向けて、民間事業者との協議調整を進めました。			3
所管部	まちづくり推進部		

※「1 空港臨海部土地利用（活用）の誘導」と本事業は、一部一体的に取り組んだため、決算額は統合しています（重複を避けるため「1 空港臨海部土地利用（活用）の検討」のみに計上）。

4 海上公園の移管整備

東京都港湾局から移管予定の海上公園について、空港臨海部の特色を踏まえた活用を検討し、区立公園として再整備を進めます。

決算額	— 円	執行率	— %
主要施策の成果（平成 30 年度の取り組み内容）			進捗状況
【港湾局移管公園の活用検討】 ○ 4 か所目の移管対象となる都立京浜島ふ頭公園について、移管に向けた部内検討を行うとともに、港湾局の動向を確認しました。			A
【移管公園の再整備】 ○ 昭和島二丁目公園は、都市計画事業として、令和元年度末までの事業完了を目指して事業の進捗を図りました。 ○ 昭和島二丁目公園整備工事その 5（テニスコート）を完了しました。			3
所管部	都市基盤整備部		

※本事業と「5 新スポーツ健康ゾーンの整備」は、一部一体的に取り組んだため、決算額は統合しています（重複を避けるため「5 新スポーツ健康ゾーンの整備」のみに計上）。

5 新スポーツ健康ゾーンの整備 実施計画事業

大田区の特徴である水辺を活かし、年代や性別を超えて誰でもスポーツを楽しめる水辺のレクリエーション拠点を「大森ふるさとの浜辺公園」を中心に整備します。空港臨海部に点在する公園との連携も視野に入れた事業展開をめざします。

決算額	385,499,844 円	執行率	98.29%
主要施策の成果（平成 30 年度の取り組み内容）			進捗状況
【調査検討・関係機関との協議】 ○ 昭和島二丁目公園に関しては、隣接する羽田鉄鋼団地を含めた昭和島連絡協議会等において意見交換を行いながら、本年度行うテニスコートの整備や、次年度に行う壁打ちテニスコートの整備内容及び運営方法を確定し、全体計画を最終的に取りまとめました。 ○ 森ヶ崎公園に関しては、大田区サッカー協会、大森東地区自治会連合会、東京都下水道局など、利用者団体や関係機関と施設規模や工事方法、管理運営方法について意見交換を重ね、本年度の整備計画と次年度に行う整備計画を取りまとめました。			3
【レクリエーション施設の整備】【連携公園の整備】 ○（仮称）大森東一丁目第四公園は、用地取得に向けて下水道局と協議を実施しました。 ○ 計画どおり、4 件の工事と 1 件の設計を全て完了しました。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 昭和島二丁目公園整備工事その 5（テニスコート） ・ 森ヶ崎公園改良工事その 1（多目的スポーツ広場） ・ 森ヶ崎公園改良工事その 2（駐車場等） ・ 森ヶ崎公園管理棟改修工事 ・ 森ヶ崎公園改良実施設計委託その 2 			3
所管部	都市基盤整備部		

※【レクリエーション施設の整備】と【連携公園の整備】については、一体的に取り組みました。

※本事業と「4 海上公園の移管整備」は、一部一体的に取り組んだため、決算額は統合しています（重複を避けるため本事業のみに計上）。

6 海辺の散策路整備 実施計画事業

海老取川から平和島運河周辺などにかけて、空港臨海部の水とみどりの拠点を結ぶネットワークを形成するため、関係機関と協力しながら、散策路や公共溝渠の整備を進めます。

決 算 額	167,444,240 円	執 行 率	75.13%
主要施策の成果（平成 30 年度の取り組み内容）			進捗状況
【整備手法に関する検討】 ○北前堀の水門廃止と防潮堤及び海辺の散策路整備に関する事業手法や都区の役割分担について、定期的に協議を行い、都区の工事方法について方針を取りまとめました。			3
【散策路の整備】 ○貴船堀部の散策路の整備について、関係者と調整会議を重ね、工事方法を概ね取りまとめました。 ○潮見児童公園のトイレをバリアフリー対応型トイレへ改修しました。			3
【公共溝渠の整備】 ○旧呑川整備工事その 1 工事（締切護岸等）及び護岸上部工事を完了しました。 ○貴船堀整備工事を完了しました。 ○南前堀整備工事その 4（締切護岸、埋立造成等）を一部完了しました。 ○公共溝渠整備（北前堀）実施設計、歩道橋（貴船堀）予備詳細設計を完了しました。			3
所管部	都市基盤整備部		

基本目標 2

まちの魅力と産業が世界に向けて輝く都市

個別目標 2

首都空港『羽田』と臨海部が世界への扉を開く、国際交流拠点都市を創ります

施策 3

国際都市として交流を育みます

1 18色の国際都市事業の推進

国際都市・多文化共生推進課と18の特別出張所が、地域団体と連携しながら各地域の独自性を活かし、「国際都市おおた」を実感できるような取り組みを行い、外国人と地域住民との交流促進を支援します。

決算額	265,177 円	執行率	62.33%
主要施策の成果（平成30年度の取り組み内容）			進捗状況
<p>【地域の特色を活かした国際都市事業実施の支援】</p> <p>○国際都市・多文化共生推進課と18特別出張所の連携により、地域の特色を活かした行事を以下のとおり実施しました。様々な行事を通じて外国人と地域住民が交流することで、文化的背景や考え方の違いを相互に理解し合い、国際都市として外国人を迎え入れる地域づくりを進めることができました。</p> <p>○各特別出張所が行った取り組みを担当者会等で情報提供したほか、ポスター・チラシの翻訳、国際都市おおた大使への協力要請、国際交流員の派遣、協力者謝礼（外国語講師）、行事材料費の負担等を行いました。</p> <p>＜18地域ごとの事業＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大森東：第8回いつつのわ ふれあい祭り ・大森西：ポレポレECOまつり ・入新井：第16回入新井盆踊り大会 ・馬込：外国人住民の出張所有効活用と町会加入推進PR ・池上：第16回池上まつり ・新井宿：あらいじゅく多文化共生防災セミナー ・嶺町：第9回ぐるっと5町会！みねまちスタンプラリー ・田園調布：第11回田園調布グリーンフェスタ ・鶴の木：第15回高齢者ふれあいフェスタ ・雪谷：第7回さくらフェスティバル、ほか ・千束：「外国語教室」 ・糺谷：第6回福祉のまち 夏のおまつり ・羽田：第7回ふれあいまつり羽田・萩中 ・六郷：東六郷一丁目町会防災訓練 ・矢口：子どもフェスティバル18ホストタウン交流 ・蒲田西：蒲田国際フェスティバル ・蒲田東：大蒲田祭、ほか <p>※久が原：第29回ふれあい久が原大運動会 （9月30日実施予定でしたが、雨天のため中止になりました。）</p>			<p style="text-align: center; font-size: 2em;">3</p>
所管部	観光・国際都市部		

2 全区的・持続的な国際交流の推進 実施計画事業

国際交流事業を全区的・持続的に実施します。そのために、区民主体で柔軟かつ日常的に国際交流イベントなどを開催できる仕組みとして、(一財)国際交流協会を開設します。

決算額	38,970,680 円	執行率	70.90%
主要施策の成果（平成 30 年度の取り組み内容）			進捗状況
<p>【(一財)国際都市おおた協会 開設・運営】</p> <p>○区における持続的な国際交流と多文化共生推進を担う組織として、(一財)国際都市おおた協会を平成 29 年 12 月に設立し、4 月から事業を開始しました。地域における多文化共生、国際交流、国際人財育成、国際協力を事業の 4 つの柱に掲げ、以下の諸活動を行いました。</p> <p><多文化共生></p> <ul style="list-style-type: none"> ・多言語相談窓口における相談 2,519 件 ・通訳派遣、翻訳、校正件数 703 件 ・多文化防災講習会、防災訓練 参加者 93 人 ・日本語教室 受講者 23 人 ・日本語ボランティア養成講座 受講者 49 人 <p><国際交流></p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本語でスピーチ 発表者 10 人、参観者 120 人 ・多文化交流会（7 回） 参加者延べ 952 人 <p><国際人財育成></p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際交流ボランティア講座（2 回） 参加者延べ 53 人 <p><国際協力></p> <ul style="list-style-type: none"> ・使用済切手等の収集、寄附 			3
所管部	観光・国際都市部		

3 「国際都市おおた」の魅力と存在感を国内外に発信

「地域力」の向上が国際都市としての魅力を高め、国内外に大田区の国際都市としての魅力が伝わり、さらに「地域力」が高められるという、相乗効果を生み出すため、ものづくり、良好な住宅街と商業など多様な魅力を持つ大田区の強みを活かし、世界に開かれた大田区の魅力を国内外に発信します。

決算額	203,467 円	執行率	13.57%
主要施策の成果（平成 30 年度の取り組み内容）			進捗状況
【「国際都市おおた宣言」調査・検討・実施】 ○国際都市おおたフェスティバル in「空の日」羽田で、国際都市おおた大使と来場者が気軽に会話できる「多文化交流カフェ」を開設しました。また、来場者に向けて「国際都市宣言文リーフレット」等を配布し、広報・周知に努めました。 ○東京 2020 オリンピック・パラリンピック大会のブラジル選手団事前キャンプを控え、ブラジル日本交流協会の方等を講師に迎えた「ブラジル文化を学ぶ交流会」を実施（2回、12/1・8）しました。交流会では、東京 2020 大会に向けた区の取り組みを紹介したほか、ポルトガル語講座やブラジル料理教室を開催し、2日間で68人が参加しました。			3
【区民・有識者会議の設置】 ○学識経験者、区民、区議会議員等を委員とする「第四期 大田区多文化共生推進会議」を開催（4回）しました。協議会では、地域づくりにおける多文化共生の役割や、外国人区民が安心して暮らせるための方策について議論を重ね、第四期（平成 29～30 年度）における競技の結果をまとめた報告書を作成しました。			3
所管部	観光・国際都市部		

4 「国際都市おおた大使」事業の実施 実施計画事業

観光・国際交流・文化・産業・教育といった幅広い分野にわたって活躍する「国際都市おおた大使」を任命し、「国際都市おおた」推進の担い手としての活躍を支援します。

決算額	560,375 円	執行率	42.70%
主要施策の成果（平成 30 年度の取り組み内容）			進捗状況
【「国際都市おおた大使」任命】 ○平成 29 年度から引き続く 13 人と、平成 30 年度新規に公募した 13 人、合わせて 26 人（アメリカ、イタリア、インドネシア、オーストラリア、韓国、タイ、台湾、中国、フィリピン、ベトナム、パラグアイの 11 か国・地域出身）を「国際都市おおた大使」（愛称：来～る大田区大使）として任命しました。			3
【大使による「国際都市おおた」の推進】 ○大使は、地域のイベントへの参加や、区が主催する協議会等の委員を務めたほか、小中学校の授業で自国文化を紹介するなど、各自の得意分野で活動するとともに、その活動内容を区ホームページや SNS 等を活用して情報発信しました。 ○大使が一堂に会した交流会を開催し、今後の大使の活動内容等について意見交換を実施（1回）しました。			A
所管部	観光・国際都市部		

基本目標 2

まちの魅力と産業が世界に向けて輝く都市

個別目標 3

ものづくりから未来へ、独自の産業と都市文化を創造します

施策 1

ものづくり産業を育み、世界に発信します

1 工場の立地・操業環境の整備

実施計画事業

「大田区企業立地促進基本計画」に基づき、産業支援施設（賃貸工場、産学連携施設など）の管理・運営を行い、中小企業が事業の拡張や高度化のために行う取り組みに対して、経費の一部を助成することで、工場の立地・操業環境の向上を図ります。助成後も数年間にわたり、評価・検証を行い、事業効果を高めるとともに、区内への企業立地を促進させるため、企業誘致活動を推進します。中小企業の現状を踏まえた新たな施策を検討するため、製造業の取引実態などを把握する調査を実施します。

決算額	599,934,442 円	執行率	93.74%
主要施策の成果（平成 30 年度の取り組み内容）			進捗状況
【産業支援施設指定管理者による運営・支援】 ○指定管理者が産業支援施設使用者に対し、今以上に質の高いサービスを提供するとともに、適正かつ効率的な運営を行い、工業集積の維持・発展、地域産業の活性化に寄与するよう、モニタリング調査を実施しました。調査の結果、「きちんと履行している」という評価が 100%となり、目標としていた 95%を上回りました。			3
【ものづくり工場立地助成】 ○助成制度について、区の広報媒体を活用した周知に加え、区内中小企業向け産業情報誌「テクノプラザ」への掲出、工業団体理事会での広報、金融機関窓口でのパンフレット配布、各種セミナーにおける制度説明等、周知拡大に努めました。 ○ものづくり工場立地助成の新規認定件数は 23 件、交付件数は 41 件でした。 ○ものづくり工場アパート助成の新規認定件数は 1 件、交付件数は 1 件でした。 ○ものづくり企業立地継続補助金の新規認定件数及び交付件数は 13 件でした。 ○研究開発企業等拠点整備助成事業の新規認定件数は 1 件でした。			3
【製造業基本調査・新施策の実施 ー新施策の実施ー】 ○区内企業の留置対策として、企業等訪問ヒアリングを実施（156 件）し、拡張・移転意向のある企業に対しては、工場アパートや民間の物件等を紹介しました。 ○区内立地を確実に実現させるため、受け皿となる区内の空き工場・空き事業用地等の不動産情報を調査（82 件）しました。併せて、不動産所有者等に対し製造業系用途への活用を促すため、個別面談等を実施しました。 ○コネクターハブ企業等の受発注構造実態調査を実施しました。 ○地域経済への波及力が大きく成長性が見込まれる企業 18 社が地域未来牽引企業として選定されました。			3
【企業誘致の取り組み推進】 ○区外企業へのアンケート調査及び訪問を実施し、10 件の目標に対して 14 件の企業を誘致しました。			3
所管部	産業経済部		

2 新製品・新技術開発の支援 実施計画事業

中小企業が新製品・新技術を開発する際に要する経費の一部を助成し、中小企業の技術力、開発力を高める取り組みを支援します。助成後も数年間にわたり、評価・検証を行い、事業効果を高めます。

中小企業が開発した、優れた新製品や新技術を表彰することで、高い技術力を区内外にアピールするとともに、社内の技術力・開発力の向上意欲を高めます。

決算額	68,185,445 円	執行率	90.80%
主要施策の成果（平成 30 年度の取り組み内容）			進捗状況
【助成金交付】 ○区内中小企業の新製品・新技術の開発支援として、28 件の申請を受け、このうち 15 件（開発ステップアップ助成：5 件、実用化製品化助成：10 件）の採択・助成を行いました。			3
【コンクール表彰】 ○区内中小企業の優れた開発力・技術力の P R として、16 件の応募を受け、このうち 9 件（最優秀賞 1 件、優秀賞 2 件、奨励賞 2 件、特別賞 4 件）の表彰を決定しました。 ○受賞製品等の特徴・講評を記載したパンフレットの作成・配布、おおた工業フェアへの褒賞出展、日刊工業新聞への記事掲載等により、受賞企業の P R を行いました。 ○平成 29 年度受賞企業（8 社）については、希望する全国の展示会へ褒賞出展の機会を提供し、受賞製品等の P R を行いました。			3
所管部	産業経済部		

3 取引拡大の支援

実施計画事業

中小企業の取引機会を拡大するため、受発注相談窓口を常時開設するとともに、商談会や大手企業とのマッチング会を開催します。自主展示会の企画運営や国内展示会への出展支援を通じ、中小企業の製品・技術を広く周知するための機会を提供します。

決 算 額	72,705,423 円	執 行 率	91.39%
主要施策の成果（平成 30 年度の取り組み内容）			進捗状況
<p>【受発注相談、商談会の実施】</p> <p>○受発注相談窓口において、882 件の相談を受け、231 件の取引成立（成立金額 125,137,000 円）に結び付きました。</p> <p>○ものづくり商談会、ニーズプル型マッチング会（高付加価値案件の開発に特化した商談会）を 3 回開催（以下参照）しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ものづくり受発注商談会（平成 30 年 10 月） 参加企業 269 社（発注 91 社、受注 178 社） 商談件数 776 件 ・ニーズプル型マッチング会（平成 30 年 7 月） 参加企業 9 社 商談件数 10 件 うち商談継続件数 10 件 ・ニーズプル型マッチング会（平成 30 年 12 月） 参加企業 3 社 商談件数 4 件 うち商談継続件数 4 件 <p>○ものづくり受発注商談会による取引成立金額は、当初目標 15,000,000 円に対し、86 件 32,073,000 円（平成 31 年 2 月末時点）の実績となりました。</p> <p>○区内中小企業の取引拡大のため、ものづくり連携コーディネーター及び担当職員による主に区外の大手企業への発注開拓を行いました。 (訪問件数 162 件うち取引成立件数 37 件、 成立金額 236,499,000 円)</p>			3
<p>【展示会の開催、出展支援】</p> <p>○大田区加工技術展示商談会を実施（出展者数 100 社、来場者数 1,627 人、商談件数 1,333 件、うち取引成立件数 56 件、商談継続件数 339 件）しました。</p> <p>○おおた研究・開発フェアを実施（出展者数 92 社・団体、来場者数 1,565 人、商談件数 5,790 件、うち商談継続件数 569 件）しました。</p> <p>○おおた工業フェアを実施（出展者数 109 社、来場者数 3,138 人、商談件数 2,423 件）しました。</p> <p>○以下の国内展示会に産業振興協会として出展し、大田区産業の優れた技能・技術を PR し、区外の企業等と区内企業の受注獲得につなげる相談を受けました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第 9 回試作市場 2018（相談件数 65 件 成約件数 7 件） ・人とくるまのテクノロジー展 2018（相談件数 78 件 成約件数 5 件） ・第 22 回機械要素技術展（相談件数 72 件 成約件数 7 件） ・北洋銀行ものづくりテクノフェア 2018（相談件数 5 件 成約件数 2 件） ・2018 “よい仕事おこし” フェア（相談件数 10 件 成約件数 1 件） ・第 14 回ビジネスフェア（さわやか信金）（相談件数 5 件 成約件数 0 件） <p>○区内企業が独自に展示会出展する費用の一部を助成する「国内見本市出展助成制度」を新たに開始し、区内企業の受注獲得につなげました。 (採択 35 件 出展企業 34 社 商談件数 3,966 件 うち商談継続案件 700 件)</p>			3
所管部	産業経済部		

4 海外市場開拓支援 実施計画事業

中小企業の優れた製品や技術を、アジアをはじめ世界に情報発信し、取引拡大につながる海外展開を支援します。特に、医療機器や航空・宇宙等先端分野をリードする欧州への展開に注力することなど、世界中の優れた技術を有する企業との連携・技術交流を強力に進めます。

各企業における海外展開のステップ（基礎知識習得、海外販路開拓、現地法人設立）に応じた支援を行うとともに、諸外国・地域の政府機関、産業関係機関、企業団体との交流を積極的に進め、中小企業に対して海外取引相談、情報提供などの支援を実施します。

決 算 額	21,230,475 円	執 行 率	86.61%
主要施策の成果（平成 30 年度の取り組み内容）			進捗状況
<p>【海外展開支援】</p> <p>○海外で開催される展示会に区内企業とともに出展しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・展示会名：AUTOMATICA 2018（ドイツ） 参加企業 3 社 商談件数 55 件 うち商談継続案件 9 件 ・展示会名：FBC 上海 2018 ものづくり商談会 参加企業 3 社 商談件数 63 件 うち商談継続案件 34 件 <p>○区内企業が独自に海外の展示会に出展する費用の一部を助成する「海外見本市出展助成制度」を実施し、区内企業の受注獲得につなげました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第 1 回募集：採択 7 件 出展企業 7 社 商談件数 260 件 うち商談継続案件 103 件 ・第 2 回募集：採択 2 件 出展企業 2 社 商談件数 107 件 うち商談継続案件 33 件 ・第 3 回募集：採択 1 件 出展企業 1 社 商談件数 12 件 うち商談継続案件 8 件 			3
<p>【情報提供などの実施】</p> <p>○海外取引相談等を実施し、貿易や物流等に関する区内企業の相談内容に対し、産業振興協会窓口や企業現場にて対応しました。また、産業振興協会内部でソリューションを示せない場合には、外部機関やビジネスサポーター事業につなぐ等、ワンストップ窓口として活動しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実績 海外取引相談件数 519 件 国際取引あっせん 4 件 海外取引セミナー及び海外市場勉強会の開催 8 回（179 人参加） <p>○海外市場開拓の一環で商談会を実施しました。</p> <p>開催地：台湾 参加企業 2 社 商談件数 9 件 うち商談継続案件 2 件 開催地：タイ 参加企業 5 社 商談件数 15 件 うち商談継続案件 9 件</p>			3
所管部	産業経済部		

5 新市場開拓支援(航空・宇宙、医療・福祉、新エネルギー、環境関連分野など)

大学や病院、研究機関などと中小企業との連携による新市場開拓を支援します。研究機関や先進企業から講師を招き、新技術・新素材に関する講義や技術指導を行うことで、新製品開発への足掛かりをつくとともに、企業間や研究機関などとの共同開発事業に対しては、経費の一部を助成します。助成後も数年間にわたり、評価・検証を行い、事業効果を高めます。

決 算 額	29,867,394 円	執 行 率	85.43%
主要施策の成果（平成 30 年度の取り組み内容）			進捗状況
<p>【セミナー・講演会などの開催】</p> <p>○次世代産業を中心としたセミナーや東京工業大学と連携したセミナー等を、以下のとおり実施（延べ 12 回）し、計 241 人に対して新分野・新市場開拓進出に向けた機会を創出しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京工業大学技術交流セミナー：6 回 ・新分野進出セミナー：4 回 ・医工・看工連携に関するセミナー：2 回 <p>○区内企業の次世代産業分野での新たな市場開拓を促進するため、イノベーション創出担当相談室の専門相談員による相談及び伴走支援を実施しました。延べ 482 件の相談を受け、8 社が研究・開発による新製品を開発し、51,680,000 円（目標：35,000,000 円）の売上を創出しました。</p>			3
所管部	産業経済部		

6 ものづくり人材の育成

ものづくりへの興味・関心を高めるには、若い世代からの取り組みが重要です。小中学生を対象とした、ものづくり実践教室や産業のまちスクールなどの、ものづくりの楽しさを体験できる事業を実施し、将来のものづくり人材を発掘・育成していきます。

中小企業が単独で人材育成を行うには、講師や時間の確保など制約が多いため、教育機関や産業団体などと連携し、講習会への助成やセミナーの開催などにより人材育成を支援します。

決算額	21,374,184 円	執行率	94.87%
主要施策の成果（平成 30 年度の取り組み内容）			進捗状況
【講座・セミナーなどの開催】 ○次世代のものづくり人材を確保・育成するため、以下のとおり成果に結びつく講座やセミナーを開催し、受講後のアンケートでは、参加者の 95%が「満足」又は「ほぼ満足」と回答（目標 80%）しました。 （内訳） <ul style="list-style-type: none"> ・技術指導講習会（8回、参加者 97人） ・次世代経営者育成セミナー（3回、参加者 42人） ・新入社員セミナー（1回、参加者 37人） ・工業団体実地研修会（12回、日帰り：6団体 90人、宿泊：6団体 82人） ・産業団体経営革新支援事業（工業系）講習会（22回、参加者 569人） ・産業のまちスクール（2回、参加者 98人） ・ものづくり実践教室Ⅰ（1回、参加者 238人） ・ものづくり実践教室Ⅱ（1回、参加者 40人） 			3
【講習会などへの助成】 ○（一社）大田工業連合会への委託事業として、工業団体が企画した研修会・講習会等へ助成（34回）しました。			3
所管部	産業経済部		

7 IoTなどを活用した取引環境の整備

実施計画事業

新規

大田区のものづくり企業の競争力の源泉でもある「仲間まわし」のネットワークを維持、発展するため、IoTなどを活用し、既存ネットワークの体制強化、機能向上をめざすとともに、試作開発案件等のニーズとのマッチングを促進する環境を構築します。

決算額	129,414,240 円	執行率	100.00%
主要施策の成果（平成 30 年度の取り組み内容）			
【IoT 仲間まわしによる中小企業の生産性向上プロジェクト】 ○区内製造業による価値創出型ものづくりの実現をめざして、無償対応していた企画・設計作業を有償化できる業務のあり方を明らかにし、ノウハウの整理をしました。 ○IoT を用いた効果的な仲間まわしプロセスを構築するべく、IoT 機器を製造現場に導入して実証実験を行い、より効率的な IoT 機器の検証を行いました。 ○自律的な IoT 仲間まわしを推進するコンソーシアムとして、区内企業による合同会社を設立し、受注した実案件 2 件及び複数の引き合いを通じて検証を進めました。			A
【大田区プロトタイプセンターの整備に向けた取り組み】 ○コンソーシアムとしての合同会社の検証作業において、試作開発案件の発掘、開発資金獲得の方法等を検証・考察しました。			A
所管部	産業経済部		

基本目標 2

まちの魅力と産業が世界に向けて輝く都市

個別目標 3

ものづくりから未来へ、独自の産業と都市文化を創造します

施策 2

くらしを支えるあきないを熱く盛り上げます

1 商店街景観整備事業 実施計画事業

商店街関係者のほかに地域住民、コンサルタントなどで協議会を組織し、地域における商店街の役割の見直しを検討します。まちづくりの一環として地域特性を活かした商店街の景観整備を行い、来街者の周遊、回遊を促す基盤をつくります。

決算額	2,392,000 円	執行率	47.16%
主要施策の成果（平成 30 年度の取り組み内容）			進捗状況
【候補地 協議会設立、実施計画検討】 ○3 商店街について、事業計画策定に向けた検討を行いました。 ○田園調布商店街は、1 期目の事業計画策定に基づき着工し、計画どおり竣工しました。 また、2 期目の事業計画についても策定を完了し、着工に向けた準備を開始しました。 ○洗足池商店街は、事業計画策定を完了し、工事着工に向けた準備を開始しました。 ○蒲田東口商店街は事業計画の検討を進めました。			A
【他の候補地の検討及び選定、計画策定】 ○検討を継続している商店街から、無電柱化の要望がありました。東京都無電柱化推進条例に基づく「東京都無電柱化計画」が平成 30 年 3 月に策定されたことを受け、計画の方針と目標に照らし合わせ、当初の計画にのっとった整備が可能かどうか、検討を行いました。			3
所管部	産業経済部		

2 ふれあい商店街事業

商店街会館や空き店舗などを活用して、商店街内に新たなコミュニティ空間となる、お休み処・トイレなどを整備します。

提供する商店街に費用の一部を助成することにより、円滑な運営に加え、地域コミュニティや商店街活性化も含めた活用を支援します。

決算額	1,825,000 円	執行率	40.55%
主要施策の成果（平成 30 年度の取り組み内容）			進捗状況
【実施商店街】 ○以下の 8 商店街で、お休み処の維持、整備を行いました。 <ul style="list-style-type: none"> ・長原商店街振興組合 ・雑色商店街振興組合 ・矢口の渡商店街 ・日の出銀座商店街振興組合 ・梅屋敷東通り商店街振興組合 ・大森柳本通り商店街振興組合 ・水門通り商店街振興組合 ・おいで通り糀谷商店会 ○以下の商店街で、お休み処の開設に向けた準備を進めました。 <ul style="list-style-type: none"> ・キネマ通り商店会 			3
所管部	産業経済部		

3 商店街イベント・機能向上の支援

商店街が単独で行うイベント事業や複数の商店街が合同で行う広域事業、商店街の機能を向上するための事業に対し、経費の一部を助成することにより、商店街の活性化を促すとともに地域の核としての商店街の機能を充実させます。

決算額	286,467,307 円	執行率	85.20%
主要施策の成果（平成 30 年度の取り組み内容）			進捗状況
【商店街への助成事業実施】 ○助成金交付確定件数は以下のとおりでした。 ・大田区新・元気を出せ！商店街事業：142 件 ・商店街活性化テーマ別選択事業：43 件			3
所管部	産業経済部		

4 おおた商い観光展の開催

区内の商店・企業・団体を中心に、「商い・観光・匠」といった大田区の魅力を多くの来場者に紹介する展示会として開催します。区内の観光情報の発信や逸品認定を行い、「大田区の観光資源」を全国に向けて発信します。

決算額	16,585,172 円	執行率	99.55%
主要施策の成果（平成 30 年度の取り組み内容）			進捗状況
【おおた商い観光展の開催】 ○10月20日から21日の2日間で、130事業者・団体が出展、11,265人が来場しました。 ○周辺で同時に開催されたイベント（4つ）と連携し、各会場をつなぐウォーキングラリーを併せて実施することで相乗効果を生み出し、更なる誘客を図りました。 ○区内高校（蒲田女子高校、大田桜台高校等）と連携し、イベントを通じた商い・地域交流の体験機会を設けることで、区内産業の担い手となる次世代人材の育成を行いました。 ○出展者を対象に、展示会における販売戦略策定セミナーを開催しました（3回開催、延べ30人参加）。また、展示会後の販売促進を目的としたセミナーも開催（23人参加）し、更なる売上向上に寄与する支援を行いました。			3
所管部	観光・国際都市部、産業経済部		

5 空き店舗を活用した活性化支援

商店街の空き店舗の実態を把握し、空き情報を広く発信するとともに、空き店舗を活用した取り組みを支援します。

決算額	228,407 円	執行率	59.48%
主要施策の成果（平成 30 年度の取り組み内容）			進捗状況
【空き店舗を活用した創業支援の実施】 ○空き店舗を活用し、商店街のにぎわい創出につながるよう、東京都の「商店街空き店舗活用事業」について、区内の商店街に情報提供しました。 ○3月に空き店舗見学を含めた「大田区個店・商店街見学&勉強会」を実施し、大田区で事業を行っている方及び区内で創業を目指す方14人が参加しました。			3
所管部	産業経済部		

基本目標 2	まちの魅力と産業が世界に向けて輝く都市
個別目標 3	ものづくりから未来へ、独自の産業と都市文化を創造します
施策 3	ビジネスがしやすいまち大田区をつくります

1 創業支援 実施計画事業

新たに区内で立地を希望する創業者への支援にハード・ソフト両面から取り組みます。創業支援施設の活用をはじめ、窓口相談、優秀な創業者を発掘するコンテストの開催などにより、創業者が立地・事業展開しやすい環境をつくります。

決算額	12,402,031 円	執行率	92.85%
主要施策の成果（平成 30 年度の取り組み内容）			進捗状況
【創業支援施設入居者の立地促進】 ○「産業支援施設のあり方と今後の方向性について」を定め、現在の創業支援施設（BIC あさひ）と令和 3 年度に開設を予定している（仮称）南六郷創業支援施設について、今後の方向性を決定しました。			3
【創業者支援相談の実施】 ○相談件数は延べ 1,130 件（施設における相談 503 件を含む）となり、目標としていた月延べ 20 件以上を大きく上回りました。 ○相談を受けたもののうち、59 件の創業が実現しました。 ○創業塾を開催し、創業の心構え等を学ぶ座学セミナー（1 回）、事業計画の作成等を学ぶゼミ型セミナー（全 6 回のカリキュラム）を実施しました。 ○延べ受講者 199 人のうち 3 人に対して、産業競争力強化法に基づき、特定創業支援事業の証明書を発行しました。			3
【ビジネスプランコンテストの開催】 ○ポスター・チラシ、産業振興協会のホームページや公共交通機関への広告掲出等による広報を行い、38 件の応募から、9 件の表彰（最優秀賞 1 件、大田区長賞 1 件、協賛先特別賞 7 件）を決定しました。 ○表彰式では受賞者によるプレゼンテーションの実施、協賛先への入賞パンフレットの配布等を行い、受賞プランの実用化につながるよう PR を行いました。			3
所管部	産業経済部		

2 ネットワーク形成支援 実施計画事業

中小企業が新事業展開に向けて構築する新たなネットワークの形成を促進するため、必要な経費の一部を助成します。助成後も数年間にわたり、評価・検証を行い、事業効果を高めます。ネットワーク形成を促すため、セミナーや講演会などを開催します。

決算額	3,925,615 円	執行率	83.72%
主要施策の成果（平成 30 年度の取り組み内容）			進捗状況
【新事業活動助成金の交付】 ○中小企業の新たなネットワーク形成による新事業展開を促進するため、共同して開発・生産・販路開拓等を行う活動や産業クラスターの形成・創出に資する活動に対して、助成を実施しました。 ○区内関係団体と連携した PR を実施し、周知活動強化に努め、14 件の申請を受け付けました。このうち 11 件を採択し助成金を交付しました。			3
所管部	産業経済部		

基本目標 2	まちの魅力と産業が世界に向けて輝く都市
個別目標 3	ものづくりから未来へ、独自の産業と都市文化を創造します
施策 4	大田区の観光を世界に発信します

1 訪日外国人等受入環境整備 実施計画事業

増加が見込まれる来訪者を、区内への誘客及び回遊につなげ、大田区ならではの「おもてなし」を提供できるように、来訪者受入環境の整備を進めます。

決 算 額	55,834,370 円	執 行 率	94.22%
主要施策の成果（平成 30 年度の取り組み内容）			進捗状況
【ウェルカムショップ制度の推進】【まちかど観光案内所制度の推進】 ○24 時間多言語コールセンターを運営しました。（電話通訳 126 件、翻訳サービス 149 件） ○外国人旅行者等受入対応セミナーを計 2 回実施（参加者数 27 人）しました。 ○大田区観光情報センタースタッフによる「外国語対応ヘルプデスク」を実施（利用件数 35 件）しました。			3
【外国人等「おもてなし」事業化】 ○大田区観光情報センターにおいて、おたの魅力発信をテーマとした様々なイベントを毎月実施したほか、区内で開催されるイベント等への出展・資料提供を実施（合計 32 回）しました。 ○羽田空港国際線ターミナル大田区観光情報コーナーにおいて、毎週木曜日、大田区観光情報センタースタッフによるセンターのPR活動を実施しました。 ○大田区観光情報センター・ウェルカムショップ・まちかど観光案内所が連携し、大田区観光情報センターにおいて、おもてなし外国語講座を実施しました。			3
【国内外の来訪者の宿泊や活動、交流を支援する「おもてなし」の場の創出】 ○大田区観光情報センター、羽田空港国際線旅客ターミナル大田区観光情報コーナー等において、観光情報の提供を行いました。 ○大田区観光情報センターにおいて、日本文化体験等を実施しました。 <ul style="list-style-type: none"> ・大田区観光情報センター観光相談件数 4,427 件（うち外国人 2,246 件） ・大田区観光情報センター文化体験利用者数 1,427 人（うち外国人 1,322 人） ・大田区観光情報センターおもてなし外国語講座 35 回、参加者 154 人 			3
【MICE と連携した外国人等受入環境整備の検討（総合案内機能の整備など）】 ○大田区観光情報センターの利用者実績等は以下のとおりでした。 <ul style="list-style-type: none"> ・利用者数 69,851 人（うち外国人 4,591 人） ・観光相談件数 4,427 件（うち外国人 2,246 件） ・文化体験利用者数 1,427 人（うち外国人 1,322 人） ○区内の団体等と連携し、地域の魅力を発信するイベントを実施（32 回）しました。 ○大田区観光情報センターにおいて、MICE 主催者・参加者等に対する観光案内や文化体験の提供等を行う支援を継続的に実施しました。			3
所管部	観光・国際都市部		

※【ウェルカムショップ制度の推進】と【まちかど観光案内所制度の推進】、【国内外の来訪者の宿泊や活動、交流を支援する「おもてなし」の場の創出】と【MICE と連携した外国人等受入環境整備の検討（総合案内機能の整備など）】は一体的に取り組んだため、主要施策の成果（平成 30 年度の取り組み内容）については一部重複した内容となります。

2 大田区の産業を活かした観光事業の推進

実施計画事業

世界に誇る大田区のものづくりを新たな観光資源として位置づけ、食・グルメや商店街、銭湯、文化などと組み合わせることにより、「オール大田」の産業の魅力を有機的に創出します。

決 算 額	36,656,306 円	執 行 率	95.31%
主要施策の成果（平成 30 年度の取り組み内容）			進捗状況
【食や銭湯など大田区の産業を活かした周遊・回遊・イベントの実施】 ○大田区観光推進連絡協議会として、区が保有する観光資源への理解を深めることで新たな魅力を発見し、観光客誘客、回遊促進につなげるため、バスによる区内視察を実施しました。 ○大田の観光にぎわい創出事業補助金において、「新たな水辺のにぎわいを創出する事業」2 団体、「新たな地域のにぎわいを創出する事業」8 団体に対し補助を行い、それぞれの団体が商店街や町工場と連携した地域回遊イベントを実施しました。			3
【産業を活かした観光拠点の推進】 <くくりらぼ多摩川> ○週 2 回定期開催のオープン DAY では 2,145 人、町工 BAR では 191 人（計 6 回）、たまり BAR では 94 人（計 6 回）の参加があり、その他のワークショップ・イベント等の開催も含め、積極的な活動を行いました。 <オープンファクトリー> ○商店街や交通事業者との連携、工場アパート管理者の参画、工場巡りツアーの実施など、関係者の連携体制を充実させることにより、約 4,000 人が本イベントに参加しました。			3
【産業観光に関わる受け入れ整備の推進】 ○大田の観光にぎわい創出事業補助金の「産業観光受入環境整備事業」において、5 団体（企業）に対し、工場見学受入のための体制整備に係る事業経費の一部を補助しました。			3
所管部	観光・国際都市部、産業経済部		

3 地域・事業者と連携したにぎわい創出

実施計画事業

羽田空港・鉄道などの事業者や、団体・NPO、他自治体との連携を推進することにより、来訪者にきめ細やかな「おもてなし」を提供するとともに、「にぎわい」を創出します。

決 算 額	25,070,259 円	執 行 率	97.48%
主要施策の成果（平成 30 年度の取り組み内容）			進捗状況
<p>【自治体間広域連携の推進（川崎市、品川区など）】</p> <p>○川崎市との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・羽田空港・川崎工場景観&夜景クルーズを実施（参加者 253 人）し、両地域のお土産品及び観光パンフレットを配付し、併せて大田区名産品を販売しました。 ・両地域の住民及び来訪者に対して、興味喚起及び回遊の促進を図るとともに、地域のにぎわいを創出するため、両地域を紹介するパンフレットを作成・配布（作成部数 12,000 部）しました。 <p>○品川区との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・（一社）大田観光協会・（一社）しながわ観光協会の連携により、東海道まち歩き&スタンプラリー（参加者 291 人）、東海道おたのしみウォーク（参加者 197 人）、東海道エリアガイドの増刷（増刷数 10,000 部）などを実施しました。 			3
<p>【観光まちづくり団体などへの支援】</p> <p>○（一社）大田観光協会が実施する「蒲田映画祭」、「商い観光展」への出展、水辺の賑わい事業（カヌーツーリング等）など、観光まちづくりに資する事業への支援を行いました。</p>			3
<p>【観光推進連絡協議会の推進】</p> <p>○事業の方向性や内容の検討、区内事業者間の情報交換の場として全体会議を開催しました。</p> <p>○第 1 回・第 2 回においては、「新大田区観光振興プラン」の策定状況及び「大田区らしい M I C E」推進に係る検討内容の報告、その他会員から事業紹介などを実施しました。</p> <p>○第 3 回全体会議においては、区が保有する観光資源への理解を深めることで新たな魅力を発見し、観光客誘客、回遊促進につなげるため、バスによる区内視察を以下のとおり実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開 催 日 平成 31 年 2 月 26 日（火） ・場 所 大田区観光情報センター、糀谷商店街、多摩川清掃工場、池上本門寺など 計 10 か所 			3
<p>【大田区の観光をサポートする人たちと連携したにぎわい創出事業】</p> <p>○大田の観光にぎわい創出事業補助金について、「新たな水辺のにぎわいを創出する事業」2 団体、「新たな地域のにぎわいを創出する事業」8 団体、「産業観光受入環境整備事業」5 団体（企業）、計 15 団体に対し補助を行い、それぞれの団体が商店街や町工場と連携した地域回遊イベントを実施しました。</p> <p>○大田区にゆかりがあり、文化・芸術、芸能、スポーツ等の各界で活躍されている、発信力と訴求力の高い 16 名の方々に、大田区観光 PR 特使を委嘱しました。</p>			3
<p>【地域の魅力を活かした企画展等の実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・江戸無血開城 150 年及び「西郷どん」放映を契機とし、勝海舟記念館開館に向けた気運醸成及び区内の回遊・消費向上を目的として、洗足池・池上周辺店舗による勝海舟・西郷隆盛にちなんだ井ぶりの販売と、幕末・明治ゆかりの地をめぐるスタンプラリーを実施しました。（ノベルティ引換数 1,178 件） 			A
所管部	観光・国際都市部		

4 シティセールス・MICEの推進

実施計画事業

メディアなどを活用して情報発信を行い、大田区の認知度を向上させます。関係機関とMICE推進体制を構築するとともに、MICE見本市に出展するなど、区内のコンベンション施設などをPRします。

決算額	22,003,980 円	執行率	87.19%
主要施策の成果（平成 30 年度の取り組み内容）			進捗状況
【来～る大田区大使による観光PR】 ○空の日フェスティバルの実行委員会委員や、区内観光・国際交流関連及び地域のイベントに参加する等の活動（52件）を行いました。 ○活動内容を区ホームページやSNSを活用し、情報発信（SNSでの発信数 199件）しました。			3
【メディアなどを活用した情報発信】 ○Facebook「Visit Ota-Tokyo」に、区内の魅力的なスポット、区内での楽しみ方について66件投稿しました。 ○ページいいね！数は8,333件となり、1年で726件増加しました。 ○年間通算リーチ数（閲覧数）は、315,845件となりました。 ○大田区公式観光サイト（日本語・英語・中国語（繁体・簡体）・韓国語・タイ語・フランス語）に約36件のコンテンツの掲載を完了し、累計約54万件のアクセスがありました。			3
【MICE推進体制の構築】 ○MICEの誘致による区経済の活性化に向け、産学公民一体によるMICE推進を図るため、有識者、観光・産業関係者からなる「大田区MICE推進会議」を設置し、「大田区らしいMICE」推進に向けた取り組みの方向性について検討（3回）を行いました。 ○大田区MICE推進庁内検討会議を開催し、大田区MICE推進会議における協議内容の共有及び意見交換を実施（2回）しました。 ○多岐に渡る関係者が緊密に連携し、MICEの取り組みを発展的に推進することができるよう、地域力を生かした自主自立的な運営の実現に向けた検討を行うこととしました。 ○大田区観光情報センターにおいて、MICE主催者・参加者等に対する観光案内や文化体験の提供等を行う支援を継続的に実施しました。			3
【MICE見本市の出展】 ○MICE見本市である「国際MICEエキスポ」に出展し、大田区でのMICE開催時における羽田空港からの利便性や地域資源をPRするとともに、MICEを開催可能な「産業プラザPIO」や「区民ホール・アプリコ」、「大田区総合体育館」など主要施設の紹介などを行いました。			3
【調査・計画策定】 ○めまぐるしく変化する、区の観光を取り巻く状況、社会情勢及び都方針等を反映し、平成29年度大田区観光統計・マーケティング調査の結果・分析を踏まえ、区における観光振興のテーマ及び方向性等を明確にした「大田区観光振興プラン2019-2023」を策定しました。			A
所管部	観光・国際都市部		

5 インバウンド誘致の推進

外国人旅行者を大田区に呼び込むため、事業者や他自治体などと連携して、海外の旅行博覧会での情報発信や、海外旅行会社の招請、メディアを活用した海外における情報発信などを行います。

決算額	1,686,930 円	執行率	100.00%
主要施策の成果（平成 30 年度の取り組み内容）			進捗状況
【海外の旅行会社・メディアなどに対する情報発信】 ○羽田空港周辺地域連携事業で海外メディア関係者・インフルエンサー（タイ・台湾）を招請（合計 4 名）しました。大田区内のスポットを紹介し、タイ・台湾の SNS に掲載（合計 15 回程度）されました。			3
【海外の旅行博での情報発信】 ○羽田空港周辺地域連携事業で近隣自治体と連携し、タイ・バンコクの海外旅行博に出展しました。現地旅行者に継続的に情報発信できる Facebook「Visit Ota-Tokyo」を活用し、タイでは 557 件の「いいね!」を獲得しました。			3
【観光まちづくり団体などとのインバウンド推進体制の構築】 ○(一社)大田観光協会による観光ガイド養成事業において、外国語ボランティアガイド団体の定例会に出席し、意見交換・アドバイスをを行いました。 ○外国語ボランティアガイドが実施するツアー・イベントの企画相談、実施協力を行いました。			3
所管部	観光・国際都市部		

6 大田区の特選品・グルメの PR

実施計画事業

新規

東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、大田区の PR の一環として、新たに「大田のお土産」を選定し、観光情報コーナーや各種展示会などを通じて国内外に広く PR することで、地域経済の活性化とにぎわいの創出につなげます。

決算額	9,165,232 円	執行率	89.89%
主要施策の成果（平成 30 年度の取り組み内容）			
【大田のお土産 100 選表彰】 ○応募 38 件のうち 27 件の表彰を決定し、「おおた商い・観光展 2018」で表彰式を行いました。（内訳） 【応募】 ものづくり部門：16 件 食品部門：22 件 【表彰】 ものづくり部門：10 件 食品部門：17 件 ○表彰後の PR・販路拡大支援として、以下のプロモーションを実施しました。 ・駅ビル等の商業施設、大田区観光情報センター、OTA ふれあいフェスタ等で表彰製品・商品の展示、販売 ・東急電鉄、京急電鉄等の公共交通機関に広告 ・区施設（特別出張所、図書館等）、東急電鉄駅構内、宿泊施設、商店街お休み処、理美容室等における紹介パンフレットの配布 ・J:COM 大田での放映			A
所管部	産業経済部		